	市町名	西条市
	公民館名	西条市飯岡公民館
		地区館
	連絡先(Tel)	0897-56-2118
ホームページアドレス	https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoiku/iioaka-index.html	

事業分野	M 伝統・文化	事業名	市之川鉱山探訪活動
趣旨・目的	市之川鉱山の歴史を知り、貴重な歴史遺産を多くの人に伝えていく。		
対象	地域住民	参加人数	延べ約300名

〈事業内容〉

(1) 概要

“美しい輝安鉱”として世界的に有名な市之川鉱山。江戸時代に発見され、全盛期の明治時代には一時 4,000人近くもの人が住み、市内よりもまばゆい賑わいがあったと言われていています。昭和32年に閉山し、今その面影はありませんが、元小・中学校の廃校舎の資料室で当時の様子を偲ぶことができます。また、飯岡公民館では、飯岡地区に隣接する市之川地区の公民館を年に数回訪れ、交流研修活動を行っています。

(2) 鉱山の歴史を学ぶ活動

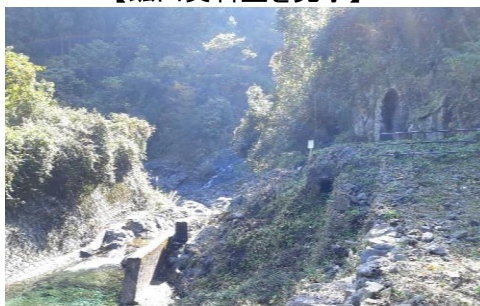
平成30年には、市之川公民館長を講師にお招きし、市之川鉱山の歴史を学ぶ講演会を開催しました。これが交流の始まりです。

令和2年から交流が活発化し、市之川公民館を何度も訪れ、資料室の貴重な展示や周辺の施設を見学しました。展示資料から、鉱山事業の建物群、作業に携わる人々の姿、住宅や学校の風景など、繁栄の軌跡を窺うことができました。また、当館長の案内で、周辺にある坑道入口(千荷坑)や鉱山事務所、選鉱作業場、社宅跡などを訪ねました。そして、市之川鉱山発祥の場所とも言われる「釜床」を訪問しました。江戸時代の初期(1679年)、大浜(現在の飯岡地区大浜)の庄屋曾我部親信が、保野山(仏ヶ峠)で道路の修復工事をしているときに、偶然発見した鉱脈と伝えられています。尾根沿いの道周辺にあり、地域的なつながりが深いことでも知られています。

令和3年度の地区文化祭では、市之川鉱山の展示コーナーを設け、当鉱山産の輝安鉱や水晶等の展示とともに繁栄期の写真等も展示し、多くの人に輝かしい鉱山の歴史にふれていただく機会となりました。



【鉱山資料室を見学】



【千荷坑、鉱山事務所、選鉱場跡周辺】

(3) 今後の活動

今、世界に名を馳せた市之川鉱山が自然の中に埋もれようとしています。地元高校(愛媛県立西条高等学校)では、市之川鉱山の歴史や輝安鉱の魅力を伝える活動を通して、地域活性化につながる活動に取り組んでいます。地域においても、様々な活動や情報発信により、この偉大な歴史遺産のすばらしさを多くの人に伝えていかなければならないと思っています。